

宮城県大崎保健所栗原支所 感染症発生動向調査情報

(令和8年7月24日発行)

1. 定点把握対象疾患の発生動向 ※栗原支所管内を含む大崎保健所管内

上段は圏域全体で一週間に診断した患者数、下段は一つの定点(医療機関)あたり一週間に診断した患者数。*は急性呼吸器感染症(ARI)に含まれる感染症。

疾 病		疫学週			
		26 週	27 週	28 週	29 週
		6月22日 ~ 6月28日	6月29日 ~ 7月5日	7月6日 ~ 7月12日	7月13日 ~ 7月19日
イ ス 新 へ 急 ン 感 型 A 性 フ 染 コ R 呼 ル 症 口 I 吸 エ ン ザ ー ナ ン ウ イ ル 感 染 症	急性呼吸器感染症(ARI)	364 72.80	370 74.00	358 71.60	377 75.40
	インフルエンザ *				
	新型コロナウイルス感染症 *		2 0.40	2 0.40	1 0.20
小 児 科 定 点	RSウイルス感染症 *				
	咽頭結膜熱 *	3 1.00			2 0.67
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 *	5 1.67	11 3.67	7 2.33	12 4.00
	感染性胃腸炎		2 0.67	2 0.67	2 0.67
	水痘		1 0.33		
	手足口病	6 2.00	6 2.00	9 3.00	21 7.00
	伝染性紅斑				1 0.33
	突発性発しん		1 0.33	1 0.33	4 1.33
	ヘルパンギーナ *	6 2.00	2 0.67	8 2.67	18 6.00
	流行性耳下腺炎				1 0.33
眼 科 定 点	急性出血性結膜炎				
	流行性角結膜炎	1 1.00			6 6.00
基 幹 定 点	感染性胃腸炎(ロタウイルス)				
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)				
	細菌性髄膜炎(真菌性を含む)				
	マイコプラズマ肺炎				
	無菌性髄膜炎				
拡 張 疾 患	マイコプラズマ肺炎(小児科)			1	
	川崎病		3		
	不明発疹症				

大崎保健所管内定点数:内科定点2施設 小児科定点3施設 眼科定点1施設 基幹定点1施設

2. 集団発生状況 ※栗原支所の過去2週間における対応状況

施設区分	保育所	高齢者・障害者施設	医療機関
対応状況	—	—	—
備考			

【医療機関の皆様へ】

・感染症法に基づく、
医師の届出に必要な
アカウントの発行及び
システムのログインは
こちら



3. 栗原支所より

◎:複数対応中、○:対応施設あり、—:対応無し

【全数報告疾病】※栗原支所管内

- ・なし

【定点把握対象疾患の発生動向】

※栗原支所管内を含む大崎保健所管内

- ・管内の手足口病、ヘルパンギーナの定点当たりの患者報告数が増加し、令和6年度まで運用していた警報発表基準値を上回っています。
- ・両感染症は、夏に流行する感染症で、咳エチケットや石鹸を用いた手洗いが基本の感染対策となります。糞口感染もするため、オムツ交換後の手洗いを徹底してください。また、定期的な室内の換気も有効です。

【集団発生状況】※栗原支所管内

- ・新たな集団発生の報告はありません。

- 知って、肝臓** 7月28日(日本肝炎デー)を含む1週間は「肝臓週間」です
- ・世界保健機関(WHO)はウイルス性肝炎のまん延防止と患者・感染者に対する差別・偏見の解消や感染予防の推進を目的として、7月28日を「World Hepatitis Day(世界肝炎デー)」と決めました。
 - ・肝炎の病態や知識、予防、治療に係る正しい理解が進むよう普及・啓発を行い、肝炎ウイルス検査の受検を促進しています。

【感染症コラム～手足口病～】

・4歳頃までの幼児を中心に夏季に流行するウイルス感染症です。成人を含めた小学生以上の大半は、既にウイルスの感染(不顕性感染も含む)を受けている場合が多いため、成人での発症はあまり多くありません。

・3～5日の潜伏期を経て、口腔粘膜や手掌・足底・足背等に水泡性の発疹(2～3mm)等が出現します。発熱は約1/3に見られますが38℃以下のことがほとんどです。特別な治療方法はなく、基本的に軽い症状であるため、経過観察を含め、症状に応じた治療となります。

感染経路は、飛沫・接触・糞口感染です。

・ウイルスは症状回復後も便中に約2～4週間排泄され、長期にわたって感染源になる可能性があります。

・発疹に触った後・排便後・乳幼児のおむつ交換後の手洗い、換気、環境消毒等を徹底しましょう。(アルコール消毒が効きにくいウイルスのため塩素系の消毒薬を使用してください。)

大崎保健所 栗原支所 疾病対策班
☎0228-22-2117 📠0228-22-7594